

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	スポーツチャイルド演習 I (ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 金曜3・4限	教室名	401
担 当 教 員	織田 修輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>幼児の発育発達を学び、形態および特性を理解することができる。 また、様々な運動遊びを通してその様式と指導方法を理解することができる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>配布資料、幼児期運動指針</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>毎回の授業にて行った内容の復習を行うこと。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>グループワークを中心に展開。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式 授業を 通じての 到達目標	本講義の進め方を理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	ガイダンス				
第2回	講義 演習形式 授業を 通じての 到達目標	発育と発達の違いについて理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における発育・発達について				
第3回	講義 演習形式 授業を 通じての 到達目標	運動の必要性和健康との関わりについて学ぶことができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期の健康を阻害する環境(なぜ、運動が必要なのか?)				
第4回	講義 演習形式 授業を 通じての 到達目標	運動の必要性和健康との関わりについて学ぶことができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期の健康を阻害する環境(なぜ、運動が必要なのか?) (2)				
第5回	講義 演習形式 授業を 通じての 到達目標	筋肉の種類を把握し、それぞれの名前と機能について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における運動と筋肉				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋肉の種類を把握し、それぞれの名前と機能について理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と筋肉(2)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋肉の収縮メカニズムについて学ぶことができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と筋収縮		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	筋肉の収縮メカニズムについて学ぶことができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と筋収縮(2)		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	血液の循環と運動との関わりについて学ぶことができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と循環		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	血液の循環と運動との関わりについて学ぶことができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と循環(2)		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸の仕組みについて理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と呼吸(2)		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸の仕組みについて理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と呼吸(2)		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸と運動との関わりについて理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と呼吸(3)		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸と運動との関わりについて理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と呼吸(4)		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	運動が及ぼす骨強度への貢献を理解することができる。	・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
		各コマにおける授業予定	幼児期における運動と骨格		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	スポーツチャイルド演習 I (ゼミ)		必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 金曜3・4限	教室名	401
担 当 教 員	織田 修輔	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>幼児の発育発達を学び、形態および特性を理解することができる。 また、様々な運動遊びを通してその様式と指導方法を理解することができる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>配布資料、幼児期運動指針</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>毎回の授業にて行った内容の復習を行うこと。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>グループワークを中心に展開。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式 授業を 通じての 到達目標	運動が及ぼす骨強度への貢献を理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における運動と骨格(2)				
第 17 回	講義 演習 形式 授業を 通じての 到達目標	神経系の仕組みと運動との関係性について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における運動と神経系				
第 18 回	講義 演習 形式 授業を 通じての 到達目標	神経系の仕組みと運動との関係性について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における運動と神経系(2)				
第 19 回	講義 演習 形式 授業を 通じての 到達目標	乳酸の産生方法と代謝機能について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における筋疲労の要因(乳酸について考える)				
第 20 回	講義 演習 形式 授業を 通じての 到達目標	乳酸の産生方法と代謝機能について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習	
	各コマに おける 授業予定	幼児期における筋疲労の要因(乳酸について考える)(2)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	体温調節機能と運度が及ぼす影響について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児期における運動と体温			
第22回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	体温調節機能と運度が及ぼす影響について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児期における運動と体温(2)			
第23回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の発育と発達についてを理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の発育と発達について			
第24回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の発育と発達についてを理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の発育と発達について(2)			
第25回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の発育と発達について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の発育と発達について(3)			
第26回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の発育と発達について理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の発育と発達について(4)			
第27回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の運動指針を理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の運動指針に関して			
第28回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	幼児の運動指針を理解することができる。		・パワーポイント ・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	幼児の運動指針に関して(2)			
第29回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本講義を通して幼児における生理的学びを深めることができる。		・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	まとめ			
第30回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	本講義を通して幼児における生理的学びを深めることができる。		・配布資料	配布資料の復習
	各コマにおける授業予定	まとめ(2)			